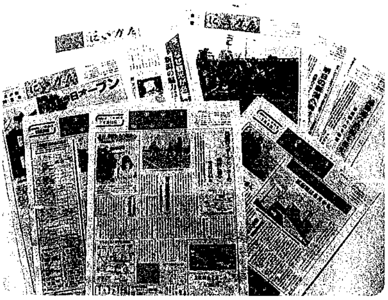
昭和61年
4月27日
第1000号

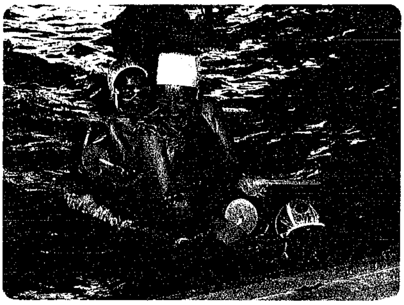
市報
にいがた

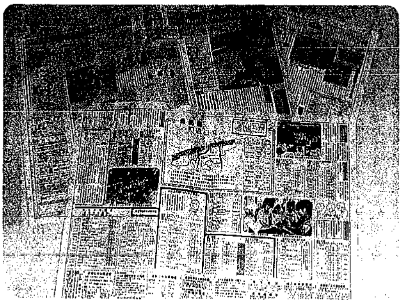
発行日 毎週日曜日　発行所 新潟市役所 〒951 西堀通6-866　編集 企画部広報課　印刷 ㈱第一印刷所

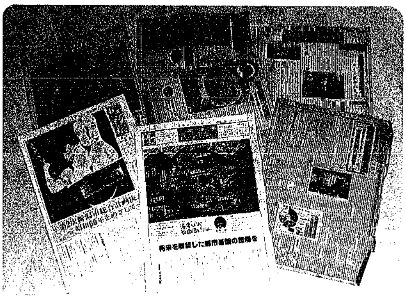
市の人口（3月末現在）

人口	464,757人
男	226,074人
女	238,683人
世帯数	151,189









昭和30年４月５日にうぶ声をあげた「市報にいがた」が今日で通算1000号を迎えることができました。そこで、今回は1000号を記念して、２―３面に市民の皆さんから寄せられた意見特集「市報と私」を、４面にテレビやニューメディアなど市報以外の広報活動を紹介しています。
なお、1000号を機に今号から題字を変えました。

市民と市政のかけ橋として31年

市報一千号に寄せて

新潟市長 若杉元喜

「市報にいがた」が、この四月二十七日号で一千号になりました。

昭和三十年四月の創刊以来、市民と市政のかけ橋として大きな役割りを果たしながら、市民の皆さんから親しまれ、愛されているものだけに一千号という大きな節目を迎えたことは誠に喜ばしいことです。

私が市政を担当してから三年二カ月がたちました。この間〝市民と共に進めるまちづくり〟〝市民参加による市政〟を貫いてきました。そのために、市政の計画や動向を的確に伝えること、知ってもらうことの必要性を強く感じ努力してきました。そこに理解が生まれ、連帯感が市民参加の輪となって、少しずつでも広がってきたものと信じています。

広報の手段としても、活字をはじめ電波、映像などいろいろな媒体を活用し、広報活動に取り組んでいます。

なかでも、市報は全世帯に届いているだけに市民と市政を結ぶもっとも重要な手段と思っています。

「市報にいがた」の歩みは新潟市の足跡であり、新潟市発展の歴史を物語っていると言っても過言ではありません。

常に、公平に正確に事実を市民に伝えてきた市報ですが、情報のはんらんするこの時代においては、その努力を更に強めていかなければならないと思います。

いろいろと姿、形を変えながら歩んできた三十一年間、「市報にいがた」をかわいがってくださった市民の皆さんに心から感謝しております。

おわりにこの節目にあたって市民の皆さんから新潟市広報の使命の大きさを新ためて認識していただくことを心から願い、一千号にあたってのごあいさつといたします。

昭和六十一年四月